

【健育会グループの病院・施設で働いて感じた 仕事のやりがい】

職種：臨床工学技士 勤続年数：12年

時期：平成28年11月

横浜市立大学付属病院にて実習を行えた事

横浜市立大学附属病院にて透析療法実習研修を受けさせていただきました。今まで12年、茅ヶ崎セントラルクリニックの中の維持透析の業務しか知らなかったため、浄化センターで各病態(導入期、アクセストラブル等)に合わせた血液浄化、別メーカーの機器の良さ、清浄化対策、感染防御対策(シャント肢手洗いの徹底、ガウン・ゴーグルの着用の徹底)等とても参考になりました。特に、急性期の血液浄化療法(CHDF、PE、PA、HA)、内シャント造設術、アブレーション治療の見学を出来た事は、当クリニックから転院した患者さんがどのように治療を行われているのか、教科書ではなく、実際に目で確認出来た事は非常に大きな経験となりました。また、私は今まで機械を扱う業務が少ない事に不安感を覚えていましたが、横浜市大のMEの方とのお話の中で、逆に患者さんに関わる業務が多い方がMEにとっては良い事であると認識できた事は自分にとって大きな経験でした。健育会に変わり、学習環境が整いつつあります。外を経験する事で、自分の未来像を描けたり、漠然としていた物が具現化されていく事にやりがいを感じています。